

教科シラバス（理科）改訂版

科目名	学年	使用教材
地学基礎II	3年文系B	
単位数（2）必修・選択		【教科書】 地学基礎（数研出版） 【副教材】 ニュースステージ新地学図表（浜島書店）、 地学基礎研究ノート（博洋社）、センサー地学基礎（啓林館）

【学習目標】

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地図をとり巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

【学習方法】

- 授業は、板書説明形式を継続していきますので、板書用のノートを準備して下さい。
- 授業プリントは、授業のまとめ用として利用します。
- 授業に集中し、現象の理解を進めて下さい。必要に応じて演習等も行います。
- 定期検査、課題検査の対策は大事です。他教科とのバランスも考え、早めに取り組みましょう。
- 模試も含め試験が終わった後に復習することが大切です。解答解説を利用して、間違った部分の理解に努めて下さい。

【学習評価】

次の4観点に基づき、学習内容のまとめ（定期検査までの学習範囲）ごとに下の評価項目により学期毎に評価（評価点）を行い、年間総合の評価は5段階の評定で総括します。

①関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的态度を身に付けています。
②思考・判断	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
③技能・表現	観察、実験等を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けています。
④知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けています。
評価方法／観点	① ② ③ ④
授業態度・出席状況	○ ○ ○ ○
課題プリント	○ ○ ○ ○
板書ノート	○ ○ ○ ○
ペーパーテスト	○ ○ ○ ○
	※考査8割、提出物2割を基準として評価を行います。
定期検査（年3回）、課題検査（年1回）	

【学習アドバイス】

【学習方法】をお読みください。
○地学は、地球やそれを取り巻く宇宙について、空間的・時間的に理解を深めていく科目です。選択履修する地学基礎は、センター試験対策のための学習の面もあり、用語の暗記は始めの段階では必要です。しかし、そればかりでは学習のモチベーションを維持することは困難です。図表や写真を参照しながら学習を進めてください。

〈入試対策について〉

- センター対策では「センサー地学基礎（啓林館）」で分野別学習（教科書の前半分野）を進め、さらに「進研センター試験直前演習（Learn-S）」を用いて、本番同様の演習を5回程度行います。（例年は7回程度）
- 夏休みの課外では、プレートテクトニクスを通して火山・地震などの地学現象について復習します。

【1学期学習計画と5月予定表】

月	学習内容（単元）	学習のねらい	学習活動（評価方法）
4 (3)			
5 (5)	第3編 大気と海洋 第1章 地球の熱収支	○大気の層構造と雲の形成について、理解する。 ○地球全体での熱収支について、熱の流れについて理解する。 休校中の課題提出	
6 (8)	第3編 大気と海洋 第2章 大気と海洋の運動	○熱収支の緯度毎の不均衡を補うため、大気の大循環や海流など地球規模での循環についてグローバルに理解する。	授業態度・出席状況 期末検査 板書ノート提出
7 (4)	第6編 宇宙の構成 第1章 太陽と恒星	○太陽のエネルギー源や構造、太陽の活動のようすなどについて学習する。	授業態度・出席状況 自己評価 夏季課外
	【5月の予定表】		
1 回 目	大気と海洋 1 大気の構造	・教科書 p 108～p 109に目を通す ・NHK高校講座「第4編 私たちの空と海・地球のこれから 地球の大気」動画を視聴し、学習メモの確認と理解度チェックに取り組む	
2 回 目	大気の層構造	・前回視聴した範囲のリードLightノート p 56と p 60の基本問題51と52番に取り組む。	
3 回 目	雲の発生	・教科書 p 110～p 113に目を通す ・NHK高校講座「第4編 私たちの空と海・地球のこらから 雲と降水のメカニズム」動画を視聴し、学習メモの確認と理解度チェックに取り組む。	
4 回 目	"	・前回視聴した範囲のリードLightノート p 57と p 59と p 61の53番に取り組む。	
5 回 目	2 地球全体の熱収支	・教科書 p 114～p 117に目を通す ・NHK高校講座「第4編 私たちの空と海・地球のこらから 地球の熱収支」動画を視聴し、学習メモの確認と理解度チェックに取り組む	
6 回 目	"	・前回視聴した範囲のリードLightノート p 58～p 60と p 62～p 63に取り組む。 次回の学習範囲（教科書 p 118～p 121）に目を通そう。	
	<定期検査対策について>	<对外模試対策について>	
	○教科書・図表を熟読しましょう。 ○研究ノートの問題を解きましょう。 ○考査後は不正解の問題をやり直して下さい。	○模試後の復習は、解答解説を利用して、徹底してやり直して下さい。※センター試験「地学基礎」を受験する人は、必ず直前演習まで受講して下さい。	

